

突然のお手紙で恐縮でございます。

この度の私と私の組合に対する弾圧事件に対する御支援・御協力を賜りまして誠にありがとうございます。心より感謝と御礼を申し上げます。

私はおかげさまで2020年5月29日の深夜零時に大阪都島拘置所より開放されました。実に641日にぶりに娑婆の空気を吸うことになりました。権力は私と湯川副委員長（彼は644日ぶりに開放）を更に長期拘留することを狙っていましたが、皆様によります御支援・御協力の輪が急速に全国的に広がったこと。安倍政権の反動性への反撃の闘いでついに黒川弘務東京高等検事の解雇を実現した力によって権力の意図するこれ以上の長期拘留を断念せざるを得なかったものと存じております。重ねて厚く厚く御礼申し上げます。

今回の権力弾圧は関生型運動の全国化を恐れた大企業と権力が一体となった攻撃であると存じております。すなわち関生型運動とは組織形態は個人加盟を原則とした産業別労働組合でありまして、統一要求、統一交渉、統一行動、統一妥結を追求してきまして1973年14社18工場による集団交渉の実現、1980年大阪兵庫生コンクリート工場組合との間における未組織労働者も拘束する集団交渉、労働協約、産業別賃金制度、産業別雇用制度、産業別福祉制度の確立、関西2府4県における各協同組合との集団交渉、協同組合と労働組合との共生・協働化、ゼネコン・セメントメーカーという大企業の収奪政策との闘いによりまして製品の売り価格の引き上げ（2010年には4か月半ストライキ）、2007年より2018年までの間セメント・トン当たり5000円値上げを阻止したこと、工業組合、各協同組合を中小企業主導の人事権の確立を実現したことにあります。特に2015年からは関西2府4県の協同組合との共同・共生型運動を追求するための運動体を各協同組合複数と関生の複数の代表で構成し月1回ないし2回の労使懇談会を設立して「適正売り価格の収受」「セメント値上げに対する協同組合による集団取引の実現」「生コン輸送運賃の標準化」「労働コストの平準化」などをめぐる活動を追求する体制が出来上がったときに実行されたのが今回の弾圧です。

今日までの何回かの弾圧はありましたが今回は暴力団対策法の拡張適用、共謀罪の適用を視野に入れた捜査手法だと存じます。それだけに何年も前の労使交渉により合意していた事項を恐喝罪にでっち上げておりますし、法令順守の活動が恐喝未遂、威力業務妨害、人

員補充要求も事件にされ、ビラを配った人も逮捕されるなど、実に89名の仲間が逮捕され、71名が起訴されております。本格的な裁判闘争はこれからです。私たちは無実を目指し断固闘います。「罪なき人を罪に陥れる」これは誣告罪ではないかと思えます。

今日までの闘争の到達点は①本勤労働者の平均賃金年収800万以上、日々雇用労働者1日25000円、②週休2日制の確立、年間125日休日制度確立、③職場における組合活動の自由、組合活動の有給制度の確立、④各職場での掲示板の設置、⑤会社負担による車両への政治スローガンのステッカー設置、⑥設備投資計画の抑制、1980年神戸地区の荻藻島プラント（住友セメントと竹中工務店）建設阻止、三菱資本などによる不当労働行為の抑制を狙ったペナルティ制度の確立、⑦ベトナム侵略戦争、イラク侵略戦争反対のストライキの実行、⑧沖辺野古基地建設阻止、意見広告運動の継続、原発再稼働阻止、⑨大企業の収奪に対する協同組合と一体となった闘争強化、⑩労働学校の設立、労使一体となった学習活動の強化、機関紙・提言の発行、歴史教養ツアーの実行、マイスター塾の継続など多岐にわたる成果であります。この運動を潰すことを狙った弾圧です。

私たちは今回の弾圧に屈することはありません。協同組合が一部の元暴力団員と在特会、権力を使い10億の金を使って労働組合員の雇用機会を剥奪して労働組合を破壊しています。従来の協同組合との労使関係を破壊しています。独禁法と労働組合法違反の数々の攻撃を集中しています。私たちはこの数年で完全勝利、原状回復致します。更に大きな前進を致します。日本の独立平和のため日米安保条約破棄、日朝国交回復、韓国慰安婦、徴用工への反省、謝罪、償い、憲法改悪阻止に全力を尽くします。私は今年で78歳になりますが健康でパワー全快です。

今後もよろしく御支援・御協力のほどよろしくお願い致します。

2020年7月16日

武建一